

寶相華

巻頭四方山話

会長 瀬川 雅 数
(昭43年卒)



「まあ、皆さん聞いてください」のセリフで始まるほやき漫才を覚えているのは高齢者の方だけだろう。一九七〇年代、社会・世相の時事をネタに何癖をつけて、「責任者出てこい」という決め台詞を吐く漫才だ。当時は観客の笑いを誘い、非常にうけたものである。果たして、ほやきたくなる時事には事欠かない現

在だが、ネタを笑えないのが実状である。笑うどころか腹立たしいことすらある。時事の話題で人々が笑うのは、市井の人が基本倫理を知りながらも欲望に負けた人間像をネタにするからだ。高学歴のキャリア官僚に見られた社会倫理を無視した行動は漫才のネタにもできない。二十年前に日本社会の生き詰まった状況を「人心の荒廃」「トンネルの中の日本経済」「政治の混迷」を原因とし、二十一世紀に向かい発想の転換が必要だとした経済学者がいた。残念ながら今も日

宝相華会 (同窓会)
会報 No. 84

発行者 瀬川 雅 数
編集者 藤原 正義
発行所 奈良県立奈良高校同窓会
印刷所 共同精版印刷(株)

題字「寶相華」は天平時代の国宝「細字金光明最勝王經」より。(筒井寛秀((中11回))収録)

本社会の状況は変わっていないようだ。

こんな世の中にさらに追い打ちをかけて社会を暗くしているのがコロナウイルスの世界的流行である。流行の兆しは令和二年に始まる。一年以上も感染症と人類は戦っているが、おさまる気配は全くない。三密を避けて、各人が会話する間隔を2m離せば基本的に飛沫感染は防げるはずなのに、残念ながら感染は拡大し続けている。人は合理的な感染防御を理解しているのに不合理な行動をするようだ。早く多くの人にワクチンを接種して、感染症を予防するこ

ので近代オリンピックの意味をネットで調べてみた。

近代オリンピックの提唱者は「近代オリンピックの父」と呼ばれるフランス人クーベラン男爵である。彼は自国フランスの教育改革のためにスポーツを取り入れる必要性から世界各国のスポーツを視察した。そして、各国選手の間交流試合を通して平和への貢献が可能であると考えた。そこで、彼は古代オリンピックの復活を一八九四年のパリ万国博覧会に際して開かれたスポーツ競技者連合会議で提唱し、近代オリンピックの開催

が満場一致で可決された。

「オリンピックは参加することに意義がある」という言葉には「オリンピックに参加することは人と付き合うことにより世界平和の意味がある」として「人にとって大切なことは成功することではなく努力することである」という思いが込められている。それを踏まえて当時提唱されたオリンピックリズム(オリンピックのあるべき姿)は「スポーツを通して心身を向上させ、さらには文化・国籍など様々な差異を超え、友情、連帯感、フェアプレーの精神を持つて

総会予告

令和四年度 宝相華会総会

日時 令和四年四月十七日(日) 十時開会

場所 ホテル日航奈良(JR奈良駅西側)

会費 五,〇〇〇円(当日受付でいただきます)

(但し、新入会員無料、平成二十八年以降の卒業生三,〇〇〇円)

世話係 昭和54年卒

恩師の先生方も来ていただく予定です。お誘い合せの上多数御参加下さい。

※新型コロナウイルスの影響により延期になる場合がございます。

宝相華会事務局

理解し合うことで、平和でよりよい世界の実現に貢献する」ことであり、現在もオリンピックピズムの理想に向けてオリンピックピックが開催されている。

ちなみにオリンピックピックのシンボルマークである五つの輪は五大陸を表すというのは俗説で、作ったクーベルタンは青・黄・黒・緑・赤に地色の白を加えると世界の国旗のほとんどを描くことができるという理由で選んだそうだ。また、現在のオリンピック讃歌ができた経緯には日本が大きく関わっている。第一回のオリンピックピックで作曲されたオリンピックピック讃歌はその後忘れ去られていた。しかし、一九五八年の東京大会の開催間近に第一回で使われていたオリンピック讃歌の譜面が見つかり、その古い譜面をNHK交響楽団が編曲し、野上彰氏が訳詞を担当して復活させた。その曲が正式にオリンピック讃歌として採用され、現在まで演奏されている。賛否がある今回のオリンピックではあるが、人類がコロナ感染を防御しながら大会が成功

で終わり、日本が果たした役割を世界に誇れることを期待したい。

最後になりましたが、奈良高校は令和四年に校舎を法蓮から平城山に移転します。そして、令和五年には創立百年を迎えます。校舎の移転や創立百年に関する情報を宝相華会のホームページで出来る限り早く掲載するようにしています。また、創立百年の記念行事に役立てるように学び舎写真集を掲載しています。今後、同窓の集いの場を提供できるような企画も考えていく予定です。企画の提案や校舎移転や宝相華会に関するご意見を宝相華会ホームページの問い合わせを利用して投稿して頂ければ幸いです。校舎の移転に合わせて、現在ある銅像や記念物を移設して欲しいという要望があります。しかし、移設には多大の費用が必要となることから、宝相華会会員各位のご支援が必要となります。校舎の移転や創立百年に向けての宝相華会の活動をご理解の上、今まで以上のご協力をお願いします。

地域に育てられて

学校長 中野善久
(昭55年卒)



夏の厳しさも峠を越え、空行く雲にも初秋の趣を感じる季節を迎えております。会員の皆様におかれましては、ご健勝で益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。平素は、母校奈良高校に物心両面にわたり温かいご支援・ご協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

本年度になっても依然として新型コロナウイルス感染症拡大が続いております。今ではマスク着用が当たり前の生活になってしまいました。感染収束の見通しが立たず、不安な日々が続きますが、生徒たちは、それぞれ自分のやるべきことを決して見失うことな

く、落ち着いて目標のある高
校生活に取り組んでおりま
す。学校としましては、校内
でのクラスター感染を発生さ
せないことを願いつつ、放課
後の教室等の消毒の他、生徒
の朝の検温等を通して健康状
態の把握に努めるとともに、
朝の公共交通機関における混
雑を回避すべく、始業時間を
三十分遅らす時差登校の措置
を継続してまいりました。特
に昼食時における感染リスク
が懸念されることから、毎
日、先生方が交代で昼食時間
に生徒の食事の見守りを行っ
てきたところです。

私も毎日、昼休みに廊下を
歩き、生徒の様子を確認する
ようになりました。また、始
業時間を遅らせたため朝の時
間に余裕ができ、先生方と一
緒になって校門前に立って、
生徒を迎える日が増えまし

た。日頃、生徒の教室から離れた場所で執務をしているため、私にとってこうした生徒の様子に触れる機会は貴重です。生徒一人一人の名前の把握までは至りませんが、短時間でも多くの生徒と言葉を交わすことが今では楽しみになっています。二人で静かに仲良くご飯を食べている生徒、食事後に無邪気に廊下で談笑している生徒など、思い思いに過ごすその様子から、コロナ禍にあっても本校生徒の無邪気さと穏やかな学校生活を感じる事ができます。食堂では、時節柄、多くの生徒が友達とアイスクリームを美味しくそうに食べており、改めて、生徒にとって昼休みが憩いの時間であることに気が付かされました。(私もアイスクリームが大好物なので生徒と同じようにアイスクリームを購入したくなる誘惑に駆られます。) 東洋インキSCホールディングス社長の高島悟氏は、取材の中で米国駐在八年間の経験を振り返り、「現場・現物・現地の三現主義」を通して文化や物事を心

から深く感じるこの大切さを説いておられました。私自身も「三現主義」に則り、生徒のありのままの姿に接することでこれからも生徒理解を深めていきたいと思えます。こうしたささやかな楽しみも見つけつつ、二学期以降も感染対策に留意しながら、生徒の教育活動を保障することを第一に考えて、慎重に進めてまいります。

さて、いよいよ法蓮での最後の一年となりました。大正十三年に県立奈良中学校として法蓮の地（現在の奈良県奈良総合庁舎付近）に創立され、昭和四十二年の現校舎への全日制、定時制、通信制の全面移転を経て、今日まで本校は法蓮の地域に支えていただき発展してまいりました。私が本校に入学したのは昭和五十二年で、現校舎への移転後十年目に当たります。当時の敷地内の樹木はまだ背丈の低いものが多く、特に本館の前庭は広々として全体的にまだ造成された土地の雰囲気などことなく残っていました。今では、こうした樹木が立派

に成長し、四季折々の花が咲くような季節感溢れる教育環境を形成しています。また、昭和四十八年創立五〇周年記念事業として中庭に制作されたプラトン・アリストテレスの師弟像は、今では本校の自由でアカデミックな精神的象徴として確立するに至っており、これまで生徒たちは師弟像に触発され、真実と理想を求めて「志操を高めて」まいりました。

本校に着任してから何度か通学路を歩いてみました。特に佐保川のゆったりとした水の流れを見ながら通学した当時から思い出されたり、川の中を注意深く覗くと魚が泳いでいる様子が懐かしい風景に出会ったりした気持ちになりました。



学校からの夕焼け

した。今では学校周辺には多くの住宅が建ち並びましたが、下町の風情は今も変わりません。

今一度、奈良高校が長年にわたり、この地で育てられ、発展してきたという大きな時間の流れに思いを巡らす時と考えます。そして、生徒たちには、「本校がこの地で発展したからこそ、今、ここで学んでいる」という本校との出会いに恵まれたこと、そして地域で温かく見守られながら楽しく学校生活を送ることができていることを伝えていきたいと思えます。

最近、「チェアリング」という楽しみ方が話題になっています。コロナ禍で混み合った名所だけでなく、近所の川



法蓮の夕焼け

辺や公園で軽量の折りたたみ椅子を持って、好きな場所を見つけたら腰をかけて、ゆったりと景色を楽しむ。自然の移り変わりを観賞するにはこれから絶好の季節を迎えます。会員の皆様も気軽にいつもの近くの野外に出て自然に親しみ、穏やかな時間を過ごされてはどうでしょうか。風にゆったりと揺れる葉や雲

が流れ行く秋の空など、普段じっくりと見ることがないものの素晴らしさを再発見できたら、少し得した気分になり、生活が楽しく感じるのではないのでしょうか。ちなみに私が気に入っている風景は、学校から望む法蓮の街に広がる鮮やかな夕焼けの空です。

恩師の便り

初任教回想

吉村 惇

元教諭（平24〜令3年在職）
現職 県立香芝高等学校 教諭



奈良高校には初任者として赴任した。二〇一二年の四月のことだ。

本当ならば、奈良高校で過

ごした一日一日を詳細に思い出し、時系列に並べて振り返りたいところだが、勤務した九年間の彩りは初任教での勤務という思いも相まって極彩色となり、すべてを描くと自分自身の目がくらんでしまいそうである。それくらい、奈良高校での日々は彩りに満ち

ていた。

何事も最初が肝心である。丁寧な、落ち着いて振る舞おう。…と思ったのも束の間である。一年生の担任は三度務めさせていたのだが、それぞれに個性が強く、それはそれは元気な生徒たちであった。生徒らの勢いに押されないう、日々必死だったことを記憶している。落ち着いていない暇がないことが、実は嬉しい悲鳴であった。

二年担任で作成したジェットコースターは、教員生活で一生に残る思い出となっている。「作ってみたらおもしろそうやん」という担任の一言から、設計者が決まり（決定した時の設計生徒の表情がたまらなくかっこよかった）、夏休みに必死に木と木を繋いでいく様子に、高校生の本気を、子どもたちの無限の可能性を見た。どんどんできあがっていくレールに、正直身震いした。

三年生での進路相談。記述試験演習の添削。口で言うのは簡単だが、実際にその希望進路に挑むのは生徒だ。いか

に生徒を信じられるか。そうした姿勢に、三年生の担任では気づくことができた。さまざまな進路の可能性。ノーベル賞を目指してもいい。医者として人を救うでもいい。料理人でもいい。バイオリン職人でもいい。関わった生徒が幸せな日々を過ごしているのなら、担任としては本望である。

奈中から奈高へ卒業後七十年

さて、野球部である。これも多くを語り出すと長くなる。一言だけ。いい選手たちばかりであった。またゆっくり、落ち着いたら皆に会いたいものだ。
最後に、私に関わっていただいたすべての方々に感謝の意を表したい。皆様のご多幸を願い、結びとする。

谷 口 孝 道

(総4回・昭27年卒)

昭和二十七（一九五二）年三月奈良県立奈良高等学校総合制第四回卒業から七十年を迎える昨今、思い出されるのは旧国鉄奈良駅前の我が家から、当時、地上駅の近鉄油阪駅前を右に折れ近鉄線ガードを抜けて船橋通りを真直ぐに沢井病院を過ぎ佐保川を渡って旧奈中への通学路となった街並みはいまだに忘れられることはありません。

太平洋戦争に敗れた翌年の昭和二十一（一九四六）年四月に旧制奈良県立奈良中学校入学以来、学制改革を経て高校卒業までの六年間は、アメリカ軍による占領下での変動に満ちた期間で何か落ち着きのない慌ただしい時期であったと思っています。
昭和十五（一九四〇）年春、尋常小学校に入学した時には、昭和十二（一九三七）

年七月に始まった日中戦争が拡大して、昭和十六（一九四一）年四月からは国民学校という呼び方に変わり二年生だった、その年の十二月八日太平洋戦争に突入したことは鮮明に覚えています。それから約四年の間、激しい戦争時代を経て六年生の夏休み中に敗戦となり、翌昭和二十一（一九四六）年春、旧制奈良県立奈良中学校生徒として最後の入学生となったのです。

校の校舎を南校舎と呼んでいたが、教室が不足して私たち併設中学校三年生の一部は一条通り向かい側（南）にある佐保小学校の教室を借りて授業を受けていたのです。
昭和二十四（一九四九）年四月には晴れて総合制奈良県立奈良高等学校の生徒となったが、一年生はホームルームが二十クラスあって、クラスは地域ごとに分けられたので北校舎だけでは入りきれず、私たちはホームルームだけが南校舎（旧奈良商工業学校）にあつたので、普通科の生徒は授業を受ける際には南校舎と北校舎の間を往復（徒歩で約十分）して、二年生になつて初めて懐かしい北校舎（旧奈良中学校）で卒業までの期間を過ごすことができたが、旧制中学最後の入学者となった私たちは途中で新制度に変更されたこともあって、総合制新制高等学校の最後の卒業生でもあったのです。

中学二年生になるときは、六・三制による改革で新一年生の募集は中止となり、新制奈良県立奈良高等学校併設中学校の二年生とされ、更に昭和二十三（一九四八）年には学制改革が進められて六・三・三制による新制度が実施され、私たちは併設中学校三年生の二学期から男女共学となつて旧制奈良県立奈良中学校・旧制奈良県立奈良商工業学校・旧制市立奈良高等学校の三校が合併して総合制の奈良県立奈良高等学校併設中学校となり、旧制奈良中学校の校舎を北校舎、旧制奈良商工業学

私たちの卒業後は普通科は奈良高等学校となり、商業科・工業科は奈良商工業高等学校になつてその後は校名が

奈良県立朱雀高等学校に変更されたとか聞いています。

太平洋戦争に敗れ連合国軍の占領下での毎日は何とも言えない不安定な日常生活で、戦争中のような恐怖とはまた違った不安な日々の中で、高校二年生の昭和二十五(一九五〇)年六月には朝鮮戦争が勃発するなど心の休まる時がなく、その日その日が無事過ぎれば良いと思えるような感覚で、将来の目標なんて考えることもなく過ごしていたものです。

卒業後就職した旧国鉄では運転関係業務に就き、昭和三十九(一九六四)年十月開業予定の東海道新幹線には、開業準備要員として新幹線車両の搬入に伴う受け取り検査や試運転等に従事し、開業後は新幹線の運行管理(CTC制御)などの業務に携わり、在職中の昭和五十六(一九八一)年秋には開業したばかりのフランス国鉄が誇る新幹線「TGV (Train a Grande Vitesse 当時最高速度二六〇km/h)の体験乗車と鉄道の歴史を訪ねて」を

テーマにヨーロッパ視察派遣団の一員として選ばれ貴重な体験ができたこと等、未知の超高速鉄道発展の礎として従事した二十三年間の新幹線鉄道生活、また退職後立命館大学法学部学生として楽しく過ごせたことは、敗戦後の混乱

コロナと大谷選手

千田 稔

(昭36年卒)

奈良県立図書館 館長

私たちの卒業した奈良高校も、世間では進学校と呼ばれていることがある。その卒業生である私も含めて、自省的な念に駆られて、拙文を綴ることにした。的外れの駄文である恐れは大いにある。それでも書いておきたい。

この原稿を書いている時、新型コロナウイルスの感染をめぐり、政府の対応に不満の声が高まり、一方ではアメリカリ大リーグで日本の大谷選手が二刀流で大活躍し、オー

した時代の急激な変動の中で奈中から奈高卒業までの慌ただしい六年間を過ごした旧校舎や図書室、運動場などの懐かしい風景と共に私の生涯忘れることのできない思い出深いものとなっています。

が、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置を案出したのである。しかし、それでもつて政府がよびかけても、国民の苦悩に伝えることができないままである。なぜだろうか。

霞が関は、日本で最高のシンクタンクだといわれる。だから、その担い手である官僚は優秀であることは、いうまでもない。だが、私は、優秀な官僚たちの(優秀)の生い立ちの問題にあるのではないかと思うことが時にある。官僚個々人の問題ではなく、日本の教育にひそむ後進性にあるのではないか。官僚の優秀性は、進学校、有名大学、国家公務員採用試験などといった、試験という関門をクリアしたことによって保障される。その点においては優秀な人たちの集団である。それなのに、なぜコロナ対策が迷走してしまったのか。

試験というハードルを越えてきた人(者)たちは、つねに「正解」を、そして誰よりも早く「正解」を見つけ、世の中に「正解」があると信じ

てきた人(者)たちである。だいたい、進学校の卒業生はそのような性癖をもっている。ワクチン接種は正解に近い方法ではあるが、この国のワクチン生産で過去に生じた問題を引きずったトラウマ的反応があり、やっと最近、国産ワクチンの治験の話がわれわれ庶民の耳に伝ってきたにすぎない。

ワクチンなしで感染症に向かうのは、徒手空拳の戦いである。最高難度の危機管理を覚悟しなければならぬ。正解ではなく果敢な判断力が求められる。残念ながらそのような状況は、われわれには伝わってこなかった。

今からおよそ千三百年前、平城京のみならず、全国に天然痘が蔓延した。天平九年(七三七)聖武天皇はみずから^{みづより}の至らなさを詔で素直に語った。「朕は天皇として君臨して多くの年を経た。しかし徳をもつて人々を導くことはまだ、差し障りがあつてうまくいかない。人々は、いまだ安らかに暮らしていない。終夜眠ることも忘れて、憂い

悩むことが現実である。またこの春以来災厄がしきりにおこり、人々の死亡するものが実に多く、官人たちも亡くなるものが少なくない。まことに朕の不徳によってこの災厄を招いたのである。天を仰いで恥じを知り、あえて安まる気持ちがない。そこで人々に免税の優遇措置をとり、安定した生活をさせたい」と。

奈良時代の天然痘との戦いの方が、今日のようなウイルスの感染よりも、たとえようのないほど恐怖感を社会にもたらしたことは言うまでもない。罹病の原因が知ることができないわけがなく、神仏に祈りを捧げるによってしか、心の平穏が得られなかった。だが、聖武天皇は、その責任は自分の徳のなさにあると言った。古代の天皇の徳とはどういうことだろうか。『論語』にいう「政を為すは徳を以つてす。譬^{たと}えば北辰の其所に居りて、衆星の之を共^{あひ}ぶが如し。」という意味であるうか。つまり、不動の北極星のまわりに、多くの星が巡っているような安定した状態が

徳をもって政治をすることであると孔子は説いた。

このような秩序が崩れると、国家は乱れる。案の定、天平十二年（七四〇）大宰府にあった藤原広嗣は、藤原四兄弟の天然痘による相次ぐ死去にともなう藤原家の凋落をとりもどすべく、天皇の側近の辞任をめぐって乱を起こした。やがて、乱は鎮圧されるが、平城京に安寧がもどるには、数年の日々を要した。

新型コロナウイルスが、オリンピック・パラリンピック問題とあいまって、日本社会を揺り動かすか、どうか、この稿を書いている今、私には予想できないし、その能力もない。だが、動揺する社会を治める現象として、時に英雄待望論が叫ばれる時がある。卑近な例を挙げれば、アメリカの大リーグにおける大谷選手の登場である。陰りはじめていた大リーグの人気を、大谷選手で盛り返そうとする試みであった。大谷選手は明らかに大リーグの英雄として存在している。ポストコロナとポストオリ

ンピック・パラリンピックに、この国が、どこ吹く風のような素知らぬ顔で満たされ

親子三代、異なる時代を生きる

中西 拓也

(昭46年卒)

ることや、大衆に迎合する疑似英雄的政治家があらわれることが恐ろしい。

になったが、二グループの分散登校。「入学当初の貴重な二ヶ月間を。」と心配したが、無用であったようだ。「朝練あるから送って。」



拓也、悠也（孫）、淳也（息子）

昨年、孫が奈良高校に入学した。家族みんなで喜び合ったのであるが、コロナの影響で、入学式に親は参加できず、二ヶ月間学校にも行かなかった。学校からの課題として動画が送られ、自主学習をしていたようだ。六月になってようやく登校するよう

阪雅宥先生だ。教頭先生になつておられた。四百六十二人が、吹奏楽の演奏で迎えられ、きれいに並べられた椅子に座っていく。圧巻の光景であった。中学校生活を少ない人数で過ごした私にとっては、感動の瞬間であった。息子にも、我が子の入学式に行かせてやりたかった。

奈良高校は佐保地区にあるが、私にとっては縁のある地区である。当時、松倉病院の裏にあった叔父のところへ下宿をし、市内循環バスで油阪バス停まで行き、そこから歩いて高校に通っていた。舟橋通りの入り口から北側を見ると、人の波が道いっぱいに進んでいく。今では、近鉄油阪駅がなくなりそんなことは考えられないが、当時朝夕は学生でいっぱいであった。小学校が二校、中学校が三校、高校が三校あったのだ。奈良教育大学時代は、法蓮町に下宿しており、家庭教師として勉強の手助けをした子もこの地区にいた。また、佐保小学校に十年勤務し、教職最後の三年間は佐保小学校で校長と

して過ごした。地域の方々とは、今もお会いすることがある。こんなことがあった。佐保小学校の運動会の日、開会式を待っていると、一人の男の人が歩いて来られた。見た瞬間に誰だかわかった。孫の運動会を見に来られた井阪先生だ。あまりの懐かしさに、手を取り合い涙した。恩師が佐保地区に住んでおられ随分心強かった。退職後、奈良県法蓮庁舎内にある奈良県教育振興会で常務理事として六年間お世話になった。

この度の県立高校再編計画に従い、わが母校は、現在の平城高校に移転となるらしい。私にとっても、この地域の人たちにとっても、まことに残念で寂しいことである。孫は、高校生活最後の年をそこで過ごすことになる。全校生徒が現在の校舎に移転したのが、昭和四十二年七月十四日。家内は、三年の二・三学期を新校舎で過ごし、私は、三年間をそこで過ごした。その後、息子が三年、孫が二年過ごすとは、何とも言えない幸せ感でいっぱいであ

る。校門を入って右側に「自主、創造」奈良県教育長大島寛氏の記念碑があるが、自主、創造の校風はすばらしく、おかげで三世代にわたって、自由で伸び伸びした青春時代を過ごすことができた。五十年たった今でも、あの頃の思い出が浮かんでくる。十二時のチャイムがなると、校舎を駆け下り並んだ食堂、みんなで取り組んだ文化祭や体育祭、毎日競い合った部活、個性豊かな先生方の特色のある授業など、次から次に浮かんでくる。人生の中で最も充実し、輝いていた時であった。息子も、私と同じように過ごしたであろう。幸

い、学校の送迎時に、学校行事や試験のことなど話す機会が多くあり、心通わせることができたことは、このうえない幸せであった。私の母校は、小学校も中学校も廃校となった。少子化で統合し、山添村では一小一中となっている。私の家族は、八人。内四人が奈良高校の卒業生だ。私も家内も、経済成長の時代に生き、息子は、バブル崩壊後の

就職氷河期の時代を乗り越え、小さな金融機関の支店長となりがんばっている。孫は、高校入試、高校生活をマスキで過ごす時代を経験して、どう成長して行くであろう。それぞれ時代は異なっても学ぶことは数多くあったはずである。力強く生きていってくれることを願ってやまな

青春時代と人生の出会いに感謝

阪本 磨祐美

(定昭49年卒)

い。
私は、四十四年の務めを終え、生まれた地域で水道組合長、農家組合長、そして、自治会の副会長、会長を終えたばかりである。中学校を卒業してすぐ故郷を離れた私は、今、子どもの頃に、一緒に遊んだ仲間たちと語り合う機会を楽しんでいる。

令和三年六月初旬午後五時三十分過ぎ、「いざ歩かん。」と気合を入れてJR奈良駅前から奈良高校を目指しました。五十年前に仕事を終え、急いで通った道はとても長く感じていたからです。ただ、友達と一緒に船橋通りを賑やかに話しながら帰った道は短く、直ぐに駅前まで着いたように思います。今は、スマホでストリートビューを見れば、場所・時間・距離を即座

に知ることは可能ですが、夕暮れの風景や空気を再体験したいと思ったのです。休憩を取りつつ歩いた歩数は、約三〇〇〇歩、時間は三十分。意外に近いと驚きました。一条通りから、学校まで今は住宅地をぬけ、もうひと頑張りで校門に到着、そして高さのある階段二十四段を登りようやく校舎へ。息を切らせて教室に入ったことが思い出されました。丁度、生徒たちの下

校時刻で、制服が五十年前とほとんど変わらず、懐かしい思いと共に変化しなければいけない風潮に真逆の、学校が大切にしている精神性を見た気持ちがい었습니다。灯りの点いてない校舎の窓を見上げながら、高校も来年には移転なのだと感慨深く、青春時代を過ごしたあの頃を思い出していました。

私は二年生の途中入学でした。担任は田中雅秀先生。長身でとても優しく生徒の話を耳を傾けて下さる先生でした。最終学年は、笠置侃一先生。いつも蝶ネクタイ姿で、お洒落な先生。「君たちが教員最後のクラス担任です。」とよくお話ししてくださいました。幼稚園に就職した後、笠置先生に春日大社で組織されていた小学生の健全育成を目指す「世界文化少年団」のリーダーとして参加を勧められ、十年程お手伝いする事になりました。先生にこの寄稿に向けてお話を伺いました。生憎ご不在でしたが、奥様にお話を伺え、今年先生は九十四歳

になられ、ご健在で居られるとのことでした。

当時、三々五々教室に集まってきた生徒たちは、それぞれ思い思いの机にカバンを降ろし、着席。職種は多様で、年齢も違っていましたが、教室に入れば普通の高校生です。授業にも真剣に取り組んでいました。時には、昼間の疲れからウトウトしている生徒もいましたが、先生も心得たもので、厳しく叱る事もなく授業を進めてくださいました。休憩時間はお喋りに興じ、笑い声が絶えないクラスでもありました。二時限目の長い休憩では、食堂に直行し温かいおうどんを食べながら、またひとしきりお喋り。今は、愛称禁止の学校も出てきましたが、私たちはお互いを「おねえ（クラスで一番年齢が上）ヒロ・チビ・さしみ・塚もっちゃん・ムツ子」等々と呼び合い、今も会えば高校時代の親しみを込めた呼び方をしています。忙しいけれど楽しく充実した高校生活。入学の経緯や動機はどうであれ、男子・女子とも卒業

まで過ごしたクラスの仲間、かけがえのない人たちであり、先生方もユニークで面白くまた、温かく接してくださいました。仕事でお世話になった上司、周りの人たちの支えもいただき、張合いのある毎日でした。定時制・通信制合同運動会、文化祭などの行事にも参加しましたが、四年生の修学旅行は、一番の思い出です。行先の決定はクラスに委ねられ、東北旅行を選択、梶木・笠置・今村先生の引率の元、仙台の青葉城・福島島の松島・磐梯山の五色沼などへ二十八名中二十三名もの生徒たちが参加できたのでした。「楽しみ、楽しみあえる。笑い、笑いあえる。教え、教えあえる。学び、学びあえる関係。」これは、高校時代に培われたものだと思います。大学でもお互いをリスペクトしあえる友達グループができました。幼稚園に就職後も様々な出会いがあり、こどもの自主性・自発性を大切にしながら環境作りを進めていた時、奈良市在住の曾根靖雅先生にお会いし、ご指導をいた

だくことになりました。絵画や造形を通し自由性を認め、「こどもの純真な思いから描く絵は、どんな大家にも描けない。」「五官と六感を大切に「する姿勢」そして、「表現とは何か」について学ばせていただきました。毎年、芦屋市童美展にも出品し、阪神淡路大震災で終了しましたが、初めて展覧会を目にした時の衝撃と感動は、今も鮮明に覚えています。『環境が人をつくる。経験は、成長なり』とのお話は、まさに学校で学ぶという環境の中で、友達や先生、職場の方々との出会いを通して、人として経験を積み重ねられる基礎となり、家族の協力もあり人生を歩んでこられたのだと感謝しています。三十六年間勤めた幼稚園を退職して十年。今は、ジム・健康教室・童謡コーラス・つまみ細工等をしています。今までの、そして今後の出会いを喜び、大切にしていきたいと思えます。青春の、真っ只中にいた頃のことを振り返る良い機会を与えてくださりありがとうございました。

※笠置先生は令和三年六月二十九日に逝去されました。

コロナに思う



た。ご冥福をお祈りいたします。

桑原 克美 (昭50年卒)

は職場の保育所に。しかし、コロナの感染拡大の不安から、数日で孫は私が預かることになる。

昨年一月、日本でのコロナ発生二人目のニュースを目にし身が引き締まる思いがあった。発表された感染者の移動経路にあたる新幹線に私は娘と生後八か月の孫と乗っていた。娘に学会出席の為に頼まれ同行、無事に東京から帰り、一息ついた矢先だった。まだ、その時は乳児を連れ歩くリスクを再確認したに過ぎなかった。

母親の代わりは出来なく、Zoomでオンラインのキッズレッスンに参加したり、試行錯誤の日々。

そして、四月になり、娘は職場復帰し十か月になった孫の動きは激しさを増し、家の庭だけに留めておくこと

は限界に達し、近所の保育園に通い始める。

その頃には娘の在籍する皮膚科にまでPCR検査の担当が回ってきたが、子供が小さいからと免除してもらえた事に娘が非常に感謝していたのが印象的であった。男女均等化の中でおおらかさを感じた。

ほっとしたと同時に、小さな子供の発達に必要な機会を大切にしよう、教育の機会を守ろう、失った時間は戻ってこない、と私自身を鼓舞した。安全に関しては周りの大人が範を示すしかない。

今年の三月に二回のコロナワクチン接種が終わった娘は、「少しだけ安心…」と呟いていた。

東京支部だより

宝相華会東京支部長に就任して

阪本 清人

(昭43年卒)

令和二年度から阿部前支部長の後を受けて宝相華会東京支部長に就任しました。

昨年は新型コロナウイルスの影響を考慮し東京支部総会が開催されませんでしたので、幹事会で選出され支部会員宛てのはがきで承認されました。

私が奈良高校に在学したの

天井の音がよく響く講堂がありました。運動場の東側には食堂や武道館、さらに北端にテニスコートと相当広い敷地だったと記憶しています。

二年生の二学期から二・三年生が新校舎(高台にある校舎)に移ることになり、三年生と一緒に机や椅子を汗を拭きながら運びました。新校舎は電車通学の生徒や旧市街地に住む生徒にとって少し遠くなったので、私も含めかなり

は、前回の東京オリンピックの翌年昭和四十年から四十二年でした。二年生の一学期までは旧校舎(現在の春日野荘の場所にあった)で過ごしました。

一条通りに面した校門をくぐるとすぐ木造二階建ての風格のある校舎があり、その奥の鉄筋校舎の三階にドーム型

クラブ活動は吹奏楽部に

入っていて、十人前後の弱小クラブでしたが行進曲中心に細々と活動していました。前年からテレビやラジオでよく聞きメロディーが頭にこびりついていった古関裕而作曲の「オリンピック行進曲」を皆

で演奏した時の感動は今でも忘れられません。また、一年生と二年生の夏は甲子園への予選大会の応援に榎原にある野球場に行きました。皆で太鼓や譜面台を持って電車で榎原の球場まで行きましたが、

当時は奈高生がほとんど応援に来ていませんでした。それでも攻撃の回になると行進曲を演奏したり、奈高の応援歌「天然はゆる」を演奏したりしました。

さて、宝相華会東京支部は何時結成されたかは定かな資料が残っていませんが半世紀以上前から活動されていたようです。現在約五〇〇人に支部総会のご案内をしております。東京支部の活動は、毎年十一月に開催される総会と首都圏散策やゴルフ等趣味の活動がありますが、昨年はコロナ禍の影響もあり支部総会は

中止、趣味の活動も休止しております。

総会が私を知る限りずっと地下鉄桜田門駅近くにある「法曹会館」で開催されています。法曹会館は時代を感じ

る格式の高い会館ですが、旧制奈良中学に在籍されていた元最高裁判所長官の寺田治郎氏のご紹介により、使わせていただいています。毎年少し肌寒くなった時期に地下鉄桜田門駅から皇居のお堀や旧法務省赤レンガ棟を見ながら法曹会館まで歩き、次第に奈高モードにスイッチが入っていくのを感じています。

総会の第一部は議事及び来賓ご挨拶、第二部は講演または公演、第三部は懇親会の三部構成で行われ、毎年七十名前後が参加されます。第一部では議事後、学校長から現役生徒の活動状況のお話があります。近年の現役生徒の文・武・芸における素晴らしい活躍は目を見張るものがあります。第二部では、講演・公演を隔年交替で行っています

が、多方面でご活躍されています

るかたが多く、世界的レベルの演奏を聴くこともできません。第三部は会場を替えて立食の懇親会です。東京支部の特徴として各学年の人数が少ないので、年度を超えた懇親となりませんが直ぐに打ち解けて盛り上がりていきます。最後に奈高の校歌を全員で斉唱し、高まった奈高モードの余韻を残しつつ散会します。そのあとは親しい人たちが集まったり、学年会をしたりそれぞれ楽しんでいきます。

本年度の東京支部総会につ

宝相華会東京支部総会 中止のご案内

当初、二〇二二年十一月十三日（土）に開催を予定していた東京支部総会は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止とさせていただきます。

来年度は、二〇二二年十一月十二日（土）に開催を予定しており、追って詳細を連絡させていただきます。

きましては、先日幹事会で話し合った結果、まだコロナの収束がみられないので昨年に続き開催を中止することに致しました。奈良高校同窓生として親睦を深めていくには、やはり定期的に集まり顔を合わせて語り合うことが大切なので、来年は是非とも総会を

大阪支部だより

大阪支部 幹事長 橋本幸一
(昭48年卒)

新型コロナウイルスによる影響で大変な状況ですが、皆様お変わりございませんか。

大阪支部では、七月十八日にシエラトン都ホテルで開催を予定していた大阪支部総会・懇親会を中止しました。今年の一月以降、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、緊急事態措置やまん延防止重点措置が実施されました。そのため大阪支部においては、昨年十二月の常任幹事

開催し、楽しく有意義な会にしていきたいと考えています。最後にになりましたが、いつも暖かいご支援ご協力を頂いております奈良高校、宝相華会本部に厚く御礼申し上げます。今後とも引き続き宜しくお願い申し上げます。

会や今年三月の常任役員会、(野外)研修会、六月の役員総会等の会議についてもすべて中止しました。大阪支部では、会議開催前の二ヶ月から一ヶ月の間に、開催の連絡をしています。この一年間は感染拡大の状況を見ながらの対応でした。連絡時期が感染の拡大傾向にあるときはすぐ中止が決まり、逆に減少傾向にあるときには支部長をはじめ関係の皆さんと連絡を取りながら開催を検討しました。

今年三月の上旬には、それまで大阪府に出されていた緊急事態宣言が解除されたので七月の支部総会・懇親会の準備を進めました。しかし、三月下旬から再び拡大傾向となり、総会・懇親会の開催の中止を決定しました。大阪府では新型コロナウイルスの感染は六月から七月にかけて減少傾向となりましたが、七月から八月にかけて感染拡大が続いています。宝相華会本部や大阪支部

ともしび会だより

ご当地スポーツ 桶ツト卓球を通して

波部 親子
(定昭42年卒)

の活動もできるだけ早く以前のように戻りますことを祈念しています。なお、令和四年度の大阪支部の総会・懇親会の準備運営については昭和五十五年卒の卒業生の皆さんにご担当いただくことになっています。皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

丹波篠山は、恵まれた自然の中に歴史の息づく文化の町として知られています。それは先人の残した篠山城跡、歴史美術館など、又盆地の中央部にそびえて丹波富士とも呼ばれている高城山（八上城

跡）があります。二〇一五年には昔から有名なデカンショ節と焼物（立杭焼）で日本遺産丹波市と認定。この他秋には黒豆、山の芋、栗等の特産物も有名です。私は奈良からこの地方に移

住して約三十年になり、当初は病院（職場）と家の往復で近所の方や地域の人々とのつきあいが少なく世間の事を余り知らず過ごして来ました。

しかし定年後ピンポンサークルに参加し仲間と出逢い付き合いが広まって行きました。そんな折、友達から「桶ツ卓球」しませんかと声をかけられ、それはどんな卓球かなあ！と半信半疑な気持ちで参加したこと覚えていました。それ以来はまっつてしましました。

平成二十三年に市の今田町に、こんだ薬師温泉ぬくもりの郷があり、この温泉を活気づけられるため考案されたご当地スポーツ「桶ツ卓球」です。この卓球ルールは、卓球台の上にネットの代りに湯桶を並べ、ラケットの代わりに湯桶でピン球を打つ。ダブル戦のみで必ず両手で打つのがルール。

一人が「あ、ユー（湯）OK（桶）？」と声をかけ、もう一人が「OK」と返事をしてからサーブするとなってます。

私達のサークルが、発祥当初四人からスタートし、練習している姿を見学されている人達に、一緒にやりませんかと声を掛け合いだんだんと参加者が増え広まって、今では市内にいくつものサークルが出来、それぞれが活動されています。毎年、ご当地スポーツとして市が主催し、全国大会が開催されますが、今年はコロナ禍で中止となりました。

桶ツ卓球の魅力と言えば、人それぞれ考えが違うと思いますが、私は卓球はハードだけどこれは小さな子供から年配の大人まで年令問わず、誰もが一緒に無理なく出来る楽しく遊べる所です。そしてピン球を打つと「ポコン」「ポコン」と小気味良い音が大きく反響し、ラリーが続いてスマッシュが決まると味方も相手も「わー」と歓声、小聲で、ストレス発散にもなり、心身共に健康を維持出来る所。このスポーツに出会って七年目になり、今尚あきずに継続出来ているのは何だろうかと考えますと「一つのピ

ン球」の力にあるのでは！このピン球の力は、多くの人を笑顔にし、元気づけ明日への活力となっていることを！

ピン球は、小さいけれどその魅力の偉大さのすばらしさをあらためて感じる事が出来ました。

これからも楽しく遊びながらまわりの人に笑顔と元気を与えられる様に努めて行きた

つどい会だより

新型コロナウイルスと

スポーツ界

西村 貴 司

(通平11年卒)

いと思っています。この原稿を書きながら五十六年前定時制四年間、友達と駅まで自転車走らせ途中で転倒したこと、電車に乗り遅れない様に走った踏み切り、教室で皆んなわいわいおしゃべり、給食にコーヒー牛乳とコッペパン美味しかったこと等、いろいろと思い出させてもらい良い機会となり、ありがとうございます。

去年の新型コロナウイルスの影響で自分の好きな高校野球やプロ野球、テレビで見て



いた大相撲もすべて中止や無観客の事が、ありました。一番楽しみにしていた東京オリンピックも一年延期というアクシデントにもなりました。自分が、好きなプロ野球の試合観戦も奈良県橿原市の佐藤薬品スタジアムで試合予

定だった二軍戦が、二試合が、中止になったのはとてもショックでした。一番ショックだったのは、二〇一九年まではナゴヤドームの試合観戦をよく六試合行きました。それが新型コロナウイルスの影響で試合観戦が駄目になりました。奈良高校の宝相華総会も去年延期になりましたが、懇親会も楽しみにしてました。自分が、勤務している薬品会社も去年七月と八月に休業要請で二回休みをしました。が、スポーツ観戦出来ないことはとてもいい葉になりました。そんな中で高校のスポーツ界相次ぐ中止に発展しました。大正十三年から始まった春の選抜高校野球大会も出場が、決まっていた三十二校ともショックで初めての中止が、決まった時は自分もショックを受けました。もう一つショックだったのは大正四年から始まった夏の全国高校野球大会も七十九年ぶりの中止でしたが、新型コロナウイルスの影響で三回目でしたが、一回目は大正七年の米騒動と昭和十六年の太平洋戦争

の中止はありました。昭和二十年の戦争が、終わるまで高校野球はありませんでした。昭和二十一年夏の甲子園から昭和二十二年の春の選抜高校野球までプロ野球で活躍している大会もコロナウイルスで中止になった時はこれ出来なくなつて悲しかったです。いつも二〇一九年にプロ野球中日ドラゴンズの試合観戦していたバンテリンドームナゴヤに行けなかったのは残念です。特にもう一つ残念だったのは去年から今年一月までしていた全国高校サッカーと高校ラグビーがすべて無観客試合でしたが、花園ラグビー場でしていた全国高校ラグビー選手権大会をテレビで観戦していた時は失望していません。明るい話題といえは去年プロ野球で巨人の坂本勇人選手の通算二〇〇本安打を達成しましたが、今年ももう一つの花園といわれる全国高等専門学校ラグビー選手権大会で奈良高専と全国大学ラグビーで天理大学が、優勝したと一月二日三日行われた箱根駅伝で自分の高校の

通信制の入学の手助けをしてくれた姉が、通っていた創価大学が、往路で優勝三日には総合二位に躍進したことです。今は姉の上の子供は創価大学の四年生になりました。去年春の選抜高校野球大会が、中止でしたが、今年の開催は観客を少し入れたことは大きな産声にもなりました。四月にはマスターズゴルフで松山英樹選手の初優勝は新型コロナウイルスで外出できなかった自分を奮い起こして頂きました。春の県大会奈良大会は自分も応援したかったですが、今年も残念でしたが、応援行きたかったです。その時もう一つの甲子園で活躍した松井大河投手と昭和五十六年から一五六勝を挙げてから一五七勝目になるまで右ひじ痛故障して四年間かかった千葉ロッテマリーンズの前身ロッテオリオンズの村田兆治さんと巨人の桑田真澄さんも一年間投げられなかったことを思い出しました。今は我慢強くいきます。最後になりましたが、今年四月に予定していた奈良高校宝相華会総会と五

月に予定していたつどい会総会は中止となりましたが、令和四年までまっています。自分が、していることは朝晩の検温と仕事している時はマスクをしています。そして三月二十九日から百円貯金と五十円貯金をしています。また彼女が、戻ってくることをまっています。これで終わります。

つどい会の皆様へ

コロナ禍の中、つどい会の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。「つどい会総会」は延期、再延期となっております。一日も早いコロナ感染の終息を、祈るばかりです。まだ、見通しは立ちませんが、もし、可能ならば、明年五月につどい会総会を開催させていただきますと考えています。

【奈良高校通信制同窓会】

つどい会総会

開催日 二〇二二年五月十五日

日十一時より

会場 リガール春日野

内容 検討中です。前回の

案を中心に。

ワクチン接種も、徐々に進んできました。又、延期の間中にお亡くなりになった方もいらつしゃいます。総会を楽しみにしておられたその方は、まだ四十歳でした。とても残念でなりません。明年の総会が、無事開催できることを祈っています。又、宝相華会総会も、無事に開催できますよう、願っています。

つどい会事務局一同



令和三年度人事異動

【退職】

事務長 奥田 浩

四年・奈良県立大学

【教諭】

国語 宝官 美鈴

十一年・畝傍高等学校

保体 浅井 隆子

十年・奈良高等学校

（臨時実習助手）

理科 松本 朋子

一年・奈良女子大学附属高等学校

【転出】

教頭 藪田 真孝

一年・青翔高等学校

【教諭】

国語 阪本 真生

五年・法隆寺国際

国語 吉村 惇

九年・香芝高等学校

数学 吉岡 淳

三年・山辺

数学 高等学校（分）（教頭）


小寫 倫世

七年・畝傍高等学校

（教頭）

英語 立石 章子 八年・畝傍高等学校 (再任用教諭)	数学 平田 功 一年・畝傍高等学校 (常勤講師)	英語 佐圓茉莉子 一年・郡山高等学校	保体 山田 知樹 一年・王寺工業高等学校 (補充講師)	国語 千葉 恒義 一年・添上高等学校	数学 長田 佳樹 一年・王寺工業高等学校 (事務室)	係長 年岡美佐子 一年・奈良東養護学校	【転入】 教頭 藤井 義秀 学校教育課	事務長 松森利江子 大和広陵高等学校 (教諭)	国語 藤江 亮太 大和広陵高等学校	数学 稲垣 雅代 平城高等学校	数学 榎原 洋介 新規採用	保体 西田 大佐
-------------------------------------	-----------------------------------	--------------------------	--------------------------------------	--------------------------	-------------------------------------	---------------------------	---------------------------	-------------------------------	----------------------	--------------------	------------------	----------

英語 添上高等学校 安樂 聖菜 奈良北高等学校 (再任用教諭)	国語 藤森 昭彦 高田高等学校	国語 梅本貴洋子 国際高等学校	数学 小林 和博 生駒高等学校 (常勤講師)	英語 大城葉寿希 平城高等学校	保体 今中 紗千 西の京高等学校 (補充講師)	数学 山口 雄彦 法隆寺国際高等学校 (臨時実習助手)	理科 田中 達希 初芝富田林高等学校 (事務室)	係長 土平 尚美 監査事務局	主査(再) 清原 淳 郡山高等学校
--	--------------------	--------------------	------------------------------	--------------------	-------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------	-------------------	----------------------



叙 勲

（令3年春受章）

旭日双光章

西本 集一氏（昭28年卒）
地方自治功勞
（元・王寺町議会議員）
宝相華会相談役

計 報

和田 晴夫 氏
（定昭31年卒）
宝相華会相談役
（元・奈良市市議会議員）
（令3・1 逝去）

笠置 侃一 氏
旧職（昭23～49年在職）
南都楽所 学頭
奈良大学 名誉教授
平成23年度芸術院賞受賞
（令3・6 逝去）

中嶋 忠雄 氏
（高昭36年卒）
宝相華会 元会計
（令3・5・4 逝去）

ご逝去に対し衷心より哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈りします。

編集後記

オリンピックもやっと終わりました。この会報誌を手にする頃には、パラリンピックも無事終わっていることでしょう。

メダルの獲得では選手の皆さんは、大活躍されました。今までの人生をかけて精進された成果が出たことと思います。

それにつれても、新型コロナウイルスが一層大手を振って、世界中を歩き回っているのには、悔しい限りです。

それはさておき、今回もお忙しい中、寄稿していただいた方々本当にありがとうございました。おかげさまで何とか第八十四号も出来上がりました。いつものことながら、寄稿者の皆さまには心から感謝申し上げます。

奈良高校の法蓮校舎もあと半年余りになりました。法蓮校舎に思い出深い方たちも沢山おられることと思います。一度、学校をのぞかれてはいかがですか。

いつもお願いしていることですが、会報誌に寄稿したいの投稿をお願いします。

メールアドレス：
masareif@alto.ocn.ne.jp
ファックス：0742-23-6912
（藤原正義）

令和3年度大学入試合格状況一覧表

《国立大学》										
大学名	現役	過年	合計							
旭川医科	1		1(1)	愛知県立芸術	1	1	京都橘	1	1	
北海道	4	2	6	名古屋市立	1	1	京都薬科	8	2	10
筑波	2		2	三重県立看護	1	1	同志社	73	74	147
東京	2		2	滋賀県立	2	1	同志社女子	18	1	19
東京工業	1	1	2	京都府立	2	1	龍谷	7	6	13
お茶の水女子	1		1	京都市立芸術	1	1	立命館	60	42	102
東京農工	1	1	2	大阪市立	27	8	追手門学院	1		1
横浜国立	2		2	大阪府立	13	8	大阪医科薬科	5		5
茨城		1	1	兵庫県立	3	1	大阪芸術	2		2
福井		1	1(1)	神戸市立看護	1		大阪工業	1		1
岐阜	3		3(1)	奈良県立医科	4	2	四天王寺	3		3
静岡	2	2	4	奈良県立		1	摂南	1	1	2
三重	3	5	8(1)	和歌山県立医科	1		関西	74	40	114
名古屋	1	2	3	北九州市立	1		関西医科		1	1(1)
滋賀	2		2	公立大学計	58	27	関西外国語	4		4
京都	24	14	38				近畿	15	39	54
京都工芸繊維	4	3	7	《私立大学》			関西学院	24	15	39
大阪	32	13	45	酪農学園	1		神戸薬科		2	2
大阪教育	4		4	北里	1		兵庫医科		1	1(1)
神戸	12	6	18	東北医科薬科		1	武庫川女子	7	1	8
奈良教育	6		6	自治医科	1	1(1)	畿央	2	1	3
奈良女子	16	3	19	慶應義塾	3	4	比治山		2	2
広島	1	2	3(1)	上智	1		私立大学計	328	269	597(4)
鳥取	1		1	青山学院	1	1	※掲載している人数は生徒からの報告を元にしております。			
香川	1		1(1)	多摩美術	1	1				
徳島		1	1	中央	2		※ () は医学部合格者数です。			
九州	1		1	東京理科	11	11				
鹿児島	1		1	専修	1	1	※掲載している人数は生徒からの報告を元にしております。			
国立大学計	128	57	185(6)	法政	1	2				3
				武蔵野美術	1		1	※ () は医学部合格者数です。		
				明治	3	3	6			
				早稲田	3	6	9	※掲載している人数は生徒からの報告を元にしております。		
				立教	1		1			
				中京	1		1	※ () は医学部合格者数です。		
				名城	2		2			
				京都産業	3	3	6	※掲載している人数は生徒からの報告を元にしております。		
				京都女子	4	1	5			
《公立大学》										
石川県立		1	1							
金沢美術工芸		1	1							
岐阜薬科	1		1							
静岡県立	1		1							



部活名など	大会・コンクール名	部 門	賞	クラス	名 前	備 考
SSH コース	日経ウーマノミクス	研究成果 ポスター発表	最優秀賞	S 9 S 9 S 9 S 9 S 9	鹿島 七星 塚本 泰樹 中島 壮汰 松田隆之介 丸尾洵一郎	
ロボット研究会	World Robot Olympiad 2021 奈良予選会	レギュラーカテ ゴリミドル競技 高校生部門	3位	J 9 J 9	五枝孝太郎 山田 健人	
吹奏楽部	第63回 奈良県吹奏楽コ ンクール	高等学校の部 A	金賞			
音楽科	令和3年度 奈良県高等 学校 独奏・独唱コ ンクール	ピアノB部門	銀賞	F 8	谷崎 美恵	
		声楽部門	銀賞	F 1 F 3	中村沙奈海 吉田 有希	
コーラス部	第88回 NHK 全国学校音 楽コンクール奈良県大会	高等学校の部	銅賞			
卓球部	令和3年度 第89回全国 高等学校総合体育大会 兼 第75回近畿高等学校 卓球選手権大会 奈良県 予選会	男子団体戦	ベスト8	S 4 S 5 S 5 S 5 S 6 S 9 J 6 J 1	山本 甫 岡田 琉生 下田 蒼士 関谷 仁志 西濱 柁登 西 優洋 北川 大朗 渡邊 公誠	近畿大会出場
		男子シングルス	ベスト16	S 5	下田 蒼士	
		男子ダブルス	ベスト16	S 6 S 9	西濱 柁登 西 優洋	
		女子団体	ベスト8	S 3 S 4 S 4 S 5 S 6 J 2 J 3 J 9	今出 真愛 辰己 聖奈 松村穂咲奈 井手野未来 大喜多美久 上島 碧衣 永嶋 里帆 守屋 花奈	
		女子シングルス	ベスト16	S 4 J 2	松村穂咲奈 上島 碧衣	
		女子ダブルス	ベスト16	S 4 J 2	松村穂咲奈 上島 碧衣	
		女子ダブルスの部	3位	J 2 J 7	蔵田あゆみ 岩崎 梓紗	
女子ダブルスの部	3位	J 5 J 6	北 優美 山下 夏未			
女子ダブルスの部	ベスト8	J 5 J 6	北 優美 山下 夏未	近畿大会出場		
ソフトテニス部	令和3年度 奈良県高等 学校選手権大会 兼 全 国高等学校総合体育大会 (ソフトテニス競技) 兼 近畿高等学校ソフトテニス 選手権大会奈良県予選会	男子団体の部	3位	S 4 S 4 S 5 S 8 F 4 F 5 F 8 F 9	森 厚樹 山田 将太 安岡 誉起 吉本 明 井上 敦生 竹本 權 植田 竣也 泉 那宙	近畿大会出場(7月18 日~19日 和歌山) 結果ベスト16
サッカー部	令和3年度全国高等学校総 合体育大会サッカー競技奈 良県予選 兼 令和3年 度第74回近畿高等学校サッ カー選手権大会奈良県予選		3位			

部活名など	大会・コンクール名	部 門	賞	クラス	名 前	備 考
弓道部	令和3年度奈良県高等学校弓道選手権大会	女子近的の部	3位	J 8	米田 実加	
		男子遠的の部	3位	S 8	瀬戸 翔太	
		男子総合の部	3位	S 8	瀬戸 翔太	
	第66回全国高等学校弓道大会県予選会・第74回近畿高等学校弓道大会県予選会	女子の部	7位	J 6	高木 彩葉	近畿大会出場
ハンドボール部	令和3年度全国高等学校総合体育大会高松宮記念杯第72回全日本高等学校ハンドボール選手権大会奈良県予選	女子の部	3位			近畿大会出場(7月27日～29日)
男子バスケットボール部	2021年度全国高等学校総合体育大会奈良県予選		3位			
			優秀選手賞	S 4 S 5	井本 大智 乾 剛誠	
アーチェリー部	令和3年度全国高等学校総合体育大会奈良県予選		個人2位	S 9	榮 祥太郎	全国大会出場
陸上競技部	2021年奈良県選手権大会	男子400m H	1位	S 2	西谷 真人	
	第74回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 奈良県予選会	男子400m H	1位	S 2	西谷 真人	近畿大会出場
		男子やり投	1位	S 9	岡本 爽楽	
		男子棒高跳	4位	J 2	村中 春友	
		男子200m	6位	S 5	井内 貴大	
		男子4×400m R	3位	F 1 S 5 J 4 S 2	富田 雅晴 井内 貴大 河井 陽 西谷 真人	
			5位	S 4 J 8 S 2 S 2	石本 修司 山口 悠太 今中亮太郎 西谷 真人	
			女子4×400m R	5位	J 4 S 9 S 8 S 5	
	第54回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会奈良県予選会	1年女子三段跳	2位	F 6	山崎 由季	本選出場 (9月17日～19日 たけびしスタジアム・京都)
		1年女子やり投	2位	F 5	田口菜奈子	
		1年女子400m	3位	F 1	堀 早希	
		1年女子走幅跳	3位	F 6	山崎 由季	
		1年女子砲丸投	3位	F 5	田口菜奈子	
			4位	F 9	井上 桃花	
		1年女子円盤投	4位	F 9	井上 桃花	
		1年女子200m	5位	F 5	福井 那菜	
		1年女子100m	7位	F 5	福井 那菜	
		1年女子3000m	8位	F 8	大脇 千央	
		2年女子800m	4位	J 1	松田菜々花	
		2年女子100m H	4位	J 4	東口 七彩	
2年女子200m		6位	J 3	胎中 友奈		
2年女子400m	6位	J 4	東口 七彩			
2年女子3000m	6位	J 5	藤川 輝			
2年女子1500m	8位	J 1	松田菜々花			

部活名など	大会・コンクール名	部 門	賞	クラス	名 前	備 考
陸上競技部	第54回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会奈良県予選会	1・2年女子共通 4×100mR	4位	J 3 J 2 F 1 F 5	胎中 友奈 竹嶋 紗来 堀 早希 福井 那菜	本選出場（9月17日～19日 たけびスタジアム・京都）
		1・2年女子共通 4×400mR	4位	J 3 F 1 F 1 J 4	胎中 友奈 村山 七海 堀 早希 東口 七彩	
		1年男子100m	2位	F 1	富田 雅晴	
		1年男子走高跳	4位	F 5	松島 陽太	
		1年男子三段跳	5位	F 2	高野 友翔	
		1年男子3000m SC	6位	F 2	岩田明輝哉	
		1年男子5000m	6位	F 1	岩本 侑士	
			8位	F 2	岩田明輝哉	
		2年男子走高跳	4位	J 2	村田 瑞稀	
		2年男子3000m SC	5位	J 4	田村賢太郎	
		2年男子100m	6位	J 4	河井 陽	
		2年男子800m	8位	J 8	山口 悠太	
		1・2年男子共通 4×400mR	8位	J 2 J 8 F 1 J 4	村田 瑞稀 山口 悠太 富田 雅晴 河井 陽	
		水泳競技部	第75回奈良県高等学校選手権水泳競技大会 兼 第75回近畿高等学校水泳競技大会奈良県予選会スィムピア奈良	男子50m 自由形	2位	J 6
5位	S 7				山本 拓弥	
男子4×100m フリーリレー	6位			S 7 S 6 S 5 J 6	山本 拓弥 島原 淳平 浅生 智哉 中堂 陽仁	
	5位			S 7 S 6 S 5 J 6	山本 拓弥 島原 淳平 浅生 智哉 中堂 陽仁	近畿大会出場
	男子50m自由形		1位(大会新)	J 6	中堂 陽仁	近畿大会出場(10月9日・10日まほろば健康パーク奈良スィムピア奈良)
			男子50m背泳ぎ	6位	J 1	
男子100m背泳ぎ			5位	J 7	川口 颯太	
	6位		F 3	蓮川 優太		
男子100m平泳ぎ	4位		F 4	高井 蒼生		
	5位		J 1	南谷 聡汰		
男子4×100m メドレーリレー	7位		J 7 F 4 J 6 J 6	川口 颯太 高井 蒼生 中堂 陽仁 鳥羽 俊祐		
	女子50m 自由形		7位	J 2	遠藤日向子	
	女子50m 背泳ぎ		5位	F 1	竹内 陽香	